HOW TO 新聞

＜新聞社の仕事編＞その❸　校閲記者

新聞の信頼性守る地道な作業

校閲記者は、取材記者が書いてきた原稿の誤字脱字を直したり、事実関係が正しいか確認したりする記者のことです。さらに表記の違いがあれば統一し、新聞の品質を保つ役割を担っています。

現在はテレワークも含めて3班で、1面から社会面までほとんどのページを分担して校閲しています。通常、締め切りの4～6時間前から準備を始めます。例えば、その日の他社の新聞を見比べます。「同じ事件に対して使っている用語表記が他社はどうなっているか」を確認するのです。最近の例では、緊急事態宣言を「発出」か「発令」か、新聞によって分かれました。大きなイベントが行われる日であれば、過去の同じイベントを紹介した記事を読んでおくと、作業の役に立ちます。

そんなとき、事件や事故発生の情報が飛び込んでくることがあります。それまでの準備が吹っ飛んでしまうこともよくあります。事件事故に限らず、結果がどうなるかわからない選挙などは、締め切りまで時間がなく、間違えてしまうリスクも高まるので一層注意が必要です。

平成31年4月1日の新元号発表の日は、菅官房長官が「令和」の額縁を掲げてからが〝スタート〟。見慣れない「令和」という漢字は、何度見ても違和感がありました。そんな中、元号の出典となった万葉和歌を紹介する記事に使われていた「気」が、新聞では使わない字体「氣」になっていたことに気づき、締め切り寸前に指摘。胸をなでおろしました。

校閲作業をする中井記者。机には辞書がたくさん並ぶ＝大阪市浪速区の産経新聞大阪本社

校閲の仕事は、原稿を一文字ずつ追う地味な作業がほとんどです。準備も含め地道な過程を繰り返し、新聞の信頼性を守ろうと努めています。ニュースが新聞になる瞬間に間近で立ち会えるのは、大きな魅力です。

（中井浩史）

次回は7月9日に掲載します

学ぼう産経新聞

夕刊「学ぼう産経新聞」では、家庭や学校などでの新聞を活用した教育の方法などについて紹介します。教育現場の先生たちや保護者の方々の声を参考にしながら、中高生たちの学びをサポートしていきます。

国が公開「RESAS」

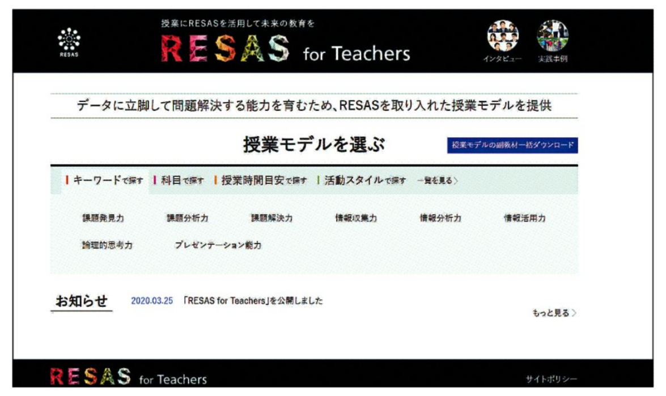
ビッグデータ活用し探究学習

【奈良】

生徒に地域活性化のアイデアを考えさせるとき、その根拠（エビデンス）をどこから導き出しますか―。奈良県橿原市の聖心学園中等教育学校は、経済産業省と内閣官房が公開しているビッグデータを活用して、地域活性化に関する政策作りなどの課題に挑戦する探究学習に取り組み、成果を上げている。　（編集企画室　田井東一宏）

説得力ある地域活性化案めざす

聖心学園教諭ら　実践用副教材作成



授業にRESASを活用して未来の教育を
RESAS for Teachers
インタビュー　実践事例
データに立脚して問題解決する能力を育むため、RESASを取り入れた授業モデルを提供
授業モデルを選ぶ　授業モデルの副教材一括ダウンロード
キーワードで探す　科目で探す　授業時間目安で探す　活動スタイルで探す　一覧を見る
課題発見力　課題分析力　課題解決力　情報収集力　情報分析力　情報活用力
論理的思考力　プレゼンテーション能力
お知らせ　2020.03.25　「RESAS for Teachers」を公開しました　もっと見る
RESAS for Teachers　サイトポリシー

㊤ポスターセッションで、奈良県橿原市職員に政策提言する聖心学園中等教育学校の生徒たち（吉澤陽教諭提供）
㊦「RESAS for Teachers」のホームページ

中高一貫教育を行う同校は、奈良県中部に位置し、近くには橿原神宮があり、飛鳥時代の宮殿や史跡が多く発掘されている明日香村にも隣接している。そのような立地条件を生かし、生徒たちが地域とのつながりを肌で感じ、地域の課題などを「自分ごと」として考えてほしいと、政策提言をするなどの探究プログラムを実施している。

明日香村の村長による講演会やフィールドワーク、橿原市の職員が参加して政策アイデアを披露するポスターセッションなどに取り組んでおり、内閣府の主催する「地方創生・政策アイデアコンテスト」にも参加している。

そこで活用されるのが内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局などが提供するビッグデータ「ＲＥＳＡＳ」（地域経済分析システム）だ。このシステムは、人口動態や産業構造、人の流れなど官民のビッグデータを集約し「見える化」しており、探究学習などに活用できる。

例えば、橿原市の観光政策を考える際に、ＲＥＳＡＳのメニューの「観光マップ」から、平成30年の宿泊者数を検索。橿原市は延べ約19万人であるのに対し、同じ観光都市である京都市は延べ約１１３５万人であることが分かる。さらに宿泊者の居住地をみると、上位3位までは東京、神奈川、埼玉で同じだが、橿原市の4位、5位は大阪、千葉で、京都市は千葉、福岡となっており、両市への宿泊者の違いが分かり、このデータを基に観光戦略を考えだすことなどに利用できる。

同校で探究学習を指導する吉澤陽教諭（社会科）は「ＲＥＳＡＳはリアルなデータで、活用することによって、探究学習を進める際に、根拠のある洞察を導き出せる。それにより、説得力のあるプレゼンテーションが可能となる」と、データ活用の利点を強調する。

□　□

吉澤教諭らは今年3月、ビッグデータに基づいた問題解決力などを育成するためのサイト「ＲＥＳＡＳ　for　Teachers」（https://teacher.resas-portal.go.jp/）を立ち上げた。

同サイトでは、吉澤教諭をはじめ、北海道や東京、岡山などで教鞭をとる計8人の教諭のＲＥＳＡＳを活用した授業モデルの副教材を公開。8人はそれぞれの学校で、ＲＥＳＡＳを使ったプログラムを実践しており、サイト立ち上げのために約8カ月にわたって検討を重ねてきた。8人はＲＥＳＡＳ専門委員として、さらなるＲＥＳＡＳの普及を目指す。

吉澤教諭は「探究学習はこれまで、教科学習の補完的な役割という考え方が一般的だったが、データ活用型の探究学習を実践することでその役割が大きく変わっていくのではないか」と話している。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受ける子供たちの学習に役立つ、文部科学省の「子供の学び応援サイト」のコンテンツリンク集に、この教育ページ「学ぼう産経新聞」のウェブサイトが紹介されています。

「文科省のリンク集」アドレス
https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/mext_00460.html

「学ぼう産経新聞」アドレス
https://www.sankei.com/nie/nie.html

本紙新外部委員に雲雀丘学園川口教諭

産経新聞の教育紙面について助言する「教育関連紙面評価委員会」の外部委員を務めていた清風中・高校の鎌田隆教諭が退任し、新たに雲雀丘（ひばりがおか）学園中学・高校の川口隆行教諭＝写真＝が就任した。約10年にわたりＮＩＥ（Ｎｅｗｓｐａｐｅｒ　ｉｎ　Ｅｄｕｃａｔｉｏｎ＝教育に新聞を）活動に取り組んできた川口教諭は「生徒にとって最適の教材である新聞について意見を述べていきたい」と抱負を述べた。

評価委員会の外部委員は、新任の川口教諭のほか、日本新聞協会認定のＮＩＥアドバイザーでもある帝塚山大学教育学部の徳永加代准教授、大阪府島本町立第一中学校の飯島知明教頭の3人。産経新聞が展開する教育紙面をはじめとした教育支援活動についてアドバイスをしてもらう。

川口教諭は「今の生徒たちは社会のニュースをもっと知りたいという意欲が強い」としたうえで、「ＳＮＳが普及した今、子供たちがしっかりと自分の意見を持ち、表明できるよう教えていく責任がある」と新聞を使って学ぶことの重要性を指摘した。

「学ぼう　産経新聞」ご活用ください

現場の先生方の声もお聞かせください。出前授業のご相談なども受け付けています。
メール（nie@sankei.co.jp）か「教育プロジェクト＠産経」（https://sankei-kyoiku.com/）
紙面について読者のみなさんのご意見を募集しています。

私と新聞

香港民主活動家　周庭さん

アグネス・チョウ

新聞の力　ネット世代にも響く

香港の民主活動家として日本でも知られる周庭（アグネス・チョウ）さん(23)。「ネット世代なので、新聞を熱心に読んできたとはいえません」と苦笑いしながらも、昨年から続く反政府デモの中で「新聞の持つ力に驚きました」と話してくれました。　（香港　藤本欣也）

周庭流　読むポイント

- ■香港は新聞ごとに政治的スタンス異なる
- ■豊富なコラム。話題も多岐にわたり充実
- ■ニュースの説明や解説をじっくり読める

香港で、「詳しい説明や解説をしてくれる。それが私にとっての新聞です」と話す周庭さん（藤本欣也撮影）

アグネス・チョウ　香港民主派の政治団体「香港衆志」（デモシスト）メンバー。2014年の香港民主化運動「雨傘運動」では、学生団体「学民思潮」の幹部を務め、「学民の女神」と呼ばれた。日本のアニメやアイドルグループのファンで、日本語も独学で勉強。今年、動画投稿サイト「ユーチューブ」のチャンネルを開設し、ユーチューバーとして香港の問題などさまざまな情報を発信している。

東京・内幸町の日本記者クラブで記者会見する周庭さん＝2019年6月（三塚聖平撮影）

世界が香港に注目

私は今、香港の自由を守り、香港の民主化を求める運動を続けています。

昨年6月、香港では逃亡犯条例改正問題をめぐり大規模なデモが起きました。逃亡犯条例が改正されると、香港から中国本土へ容疑者を引き渡すことが可能になります。香港で逮捕されても、中国本土に移送され、中国本土で裁判を受けなければならなくなるかもしれません。

市民たちは激しく反対し、国際社会にも自分たちの声を届けようということになったのです。

ちょうど、6月下旬に大阪で20カ国・地域（G20）首脳会議（サミット）が予定されていました。それで大阪サミット前に、米国や英国、フランス、日本、韓国などの新聞に1ページの全面広告を出して、G20で香港の問題を取り上げるよう訴えたのです。

広告費用についてはクラウドファンディングで協力を呼び掛け、たくさんのお金が集まりました。

お金だけではありません。広告を出した結果、世界中から注目が集まり、中国に圧力をかけることができました。

そのとき、感じたのです。新聞というメディアは力があるんだなと。

異なるスタンス

香港にもたくさんの新聞があります。でも、日本のように宅配をしてくれないので、新聞を読む人はコンビニエンスストアなどで買っています。1部10香港ドル（約１４０円）前後です。

香港の新聞の特徴は、どの新聞を読んでいるかによって、その人の政治的スタンスが分かることです。

私たち民主派が読む新聞は、蘋果日報（アップルデイリー）ですね。

反対に、親中派が読むのは、大公報や文匯（ぶんわい）報のような中国の新聞です。

このほかにも、中国マネーが資本に入っている新聞や、中国に近い新聞が増えています。

私の家では、父がアップルデイリーを読んでいました。民主派だからというより、昔のアップルデイリーにはゴシップ記事が多かったからだと思います。

私が通った中学（日本の中学・高校に相当）はカトリック系の女子校でした。毎日、昼食後に読書の時間が15分間あって、新聞を読まないといけないのです。

私の学校は英語で授業をしていたので、英字紙のサウスチャイナ・モーニング・ポストを読んでいました。でも、食べたあとだから途中で眠くなって…読んでいるふりをすることが多かったです。

コラム使い勉強

そういえば、小学生のころ、新聞を使って勉強したことがありましたね。

父が読んでいたアップルデイリーには、英語を学べるコラムがあったのです。父がそれを毎日切って、渡してくれました。英語の文法や構文などについて読者の質問に答えるというコラムでした。

小学5、6年生のころだったと思います。英語の宿題で分からないところがあったので、父親に聞くと、「コラムに質問してみれば？」というのです。

それで、質問を書いた手紙を送りました。すると、私の質問が新聞に載ったのです。確か、文法の問題だったと思います。宿題ができて、ホッとしたことを覚えています。

日本の新聞には、こういったコラムが少ないと思います。香港の新聞にはたくさんのコラムがあります。2ページ分全てコラムという新聞もありますよ。

テーマも政治だけではありません。社会や日常生活の話題など多岐にわたります。コラムだけ読んでいる香港人もいるのではないでしょうか。

ネットやテレビなど、メディアにもいろいろあります。が、新聞には特徴があると思います。詳しい説明や解説をしてくれる。それが私にとっての新聞です。

私はさまざまなメディアを利用して、1つのニュースを考えるようにしています。

やはり、新聞がなくなったら社会にとって大きな損失だと思います。ネットだけでは足りないのです。

鎌田（かまだ）　隆（たかし）の使おう新聞

ＳＮＳ時代の存在意義

新型コロナウイルスの感染拡大から緊急事態宣言、そしてその解除に至る一部のマスメディアの報道に対しては、さまざまな批判があった。人々の不安をあおるような報道、医療現場の足を引っ張るような報道、一貫性のない政府批判報道などである。

この期間、私はテレワークの必要からインターネットを利用する機会が増えた。正直、ネット情報は、マスメディアとりわけ新聞の情報に比べて信用できないものという思い込みがあった。

けれどもそれは偏見であったかもしれない。むしろ、ＳＮＳの情報の中に、前向きで、専門知識の裏付けのある、知りたい肝心のことを押さえた情報を発見することが度々であった。それなら、マスメディアの存在意義はどこにあるのだろうか。

そんなことを考えているときに、産経新聞（5月31日付朝刊）の1面で京都大学名誉教授の佐伯啓思氏の論考を目にした。

佐伯氏は90年代から一貫してグローバリズムの危うさに警鐘を鳴らしてこられた数少ない知識人であるが、グローバリズムに代わるポストコロナの社会像を提起しておられた。

佐伯氏のように社会の本質的課題を深く考察する言論は、テレビやＳＮＳのような情報媒体では、なかなか取り上げられることはない。

それゆえ、このような深い考察や長期的視座を提示するところにこそ、新聞の存在意義があるのかもしれない。もしそうであるなら、教育の場においても、新聞は「主体的で対話的な深い学び」を実現する有効な教材であり続けるに違いない。

（清風高校教諭）

君はまだ、自分の本当の脳力を知らない。

日本最大。※高校eスポーツの祭典が今年も始まる。

日本最大の全国高校対抗eスポーツ大会が、いよいよ開幕。
第1回大会となった昨年は、全国から1475校・1780チームが参加。
まさに、高校eスポーツの頂点を決める戦いが今年もやって来る。
仲間と共に脳力をフルに使いきり、目指すは高校王者。そして、
その先の世界のステージへ。さぁ、君のエントリーを待っている。

エントリーはこちらから
stage0.jp

CLASH ROYALE クラッシュ・ロワイヤル　FORTNITE　LEAGUE OF LEGENDS

STAGE:0
eSPORTS High-School Championship 2020
Coca-Cola

TOP SPONSOR　Coca-Cola
GOLD SPONSOR　NEVER SAY NEVER ロート製薬　au　mouse
後援　文部科学省　一般社団法人 日本eスポーツ連合　オンラインゲーム・eスポーツ議員連盟　NIKKEI

※2015年-2019年 高校生のみ(高等学校、高等専門学校、中等教育学校後期課程又は特別支援学校の高等部所属)を対象としたeスポーツ大会の参加者数(公表数)の調査に基づく※2020年3月26日時点

ORGANIZER:STAGE:0 eSPORTS High-School Championship 2020 実行委員会（テレビ東京、電通）MEDIA PARTNER:北海道新聞社、テレビ北海道、河北新報社、東北放送、中日新聞社、テレビ愛知、産経新聞社、テレビ大阪、中国新聞社、中国放送、西日本新聞社、TVQ九州放送、テレビせとうち
© 2020「STAGE:0 eSPORTS High-School Championship 実行委員会」All rights reserved.　© 2016-2020 Supercell Oy. All rights reserved. SUPERCELL and CLASH ROYALE are trademarks of Supercell Oy.　© 2020, Epic Games, Inc. Epic、Epic Games、Epic Gamesロゴ、Fortnite、Fortniteロゴ、Unreal、Unreal Engine 4およびUE4は、米国およびその他の国々におけるEpic Games, Inc.の商標または登録商標であり、無断で複製、転用、転載、使用することはできません。　©2020 Riot Games, Inc. Used With Permission.

東京2020公式ライセンス商品　伝統工芸品コレクション　TOKYO 2020

「伝統工芸品コレクション」とは日本各地の伝統的な技術を用いて作られた東京2020公式ライセンス商品です。それぞれの地域によって異なる日本の卓越した技術、文化、伝統が詰め込まれた品質の高い商品となっております。

東京2020オリンピック競技大会公式ライセンス商品

岩手　福島　群馬　東京　東京

南部鉄器 風鈴5個セット　東京2020オリンピックエンブレム
350年以上もの歴史を持ちながら、世界的に人気を集めている南部風鈴は、余韻ある澄んだ音色が特徴的とされています。東京2020大会の思い出として記憶に残るよう、オリンピックシンボルカラーで色付けした風鈴セットは、鑑賞用としてはもちろん、プレゼントとしてもお喜びいただけます。
税込み 11,000円　商品番号 03-001　カラー：青、黄、黒、緑、赤　サイズ：W5.8×H6×D5.8cm（風鈴部分/1個あたり）約49cm（全体/上部紐～短冊）
短冊裏
※送料：本州・四国1,500円、北海道・九州1,830円、沖縄2,490円

白河だるま ①白だるま ②金だるま　東京2020オリンピックエンブレム
江戸末期から市民に親しまれている「白河だるま」。眉は鶴、口ひげは亀、鬢は松と梅、顎髭は竹等、幸運の象徴とされている「鶴亀松竹梅」が顔の中に描写されているのが特長です。現在では願いを叶える必勝祈願の縁起物として広く愛されています。
①白だるま 税込み 2,200円　②金だるま 税込み 3,300円　商品番号 ①07-024 ②07-026　カラー：①白 ②金　サイズ：W7×H8.5cm

高崎だるま ①藍 ②桜　東京2020オリンピックエンブレム
古くから地域の人々の生活に根付き愛されている「高崎だるま」。東京2020大会カラーをイメージしたスタイリッシュで粋なデザインに仕上がりました。願掛けするのはもちろん、インテリアとしてもお楽しみいただける逸品です。
税込み 4,950円　商品番号 ①10-120 ②10-121　カラー：①藍 ②桜　サイズ：W9.5×H11.5×D9.5cm

江戸扇子 扇子（青）　東京2020オリンピックエンブレム
伝統的な江戸小紋柄を使用し、江戸の粋なイメージを再現しています。熟練の職人だから分かる、あおぎやすいように左右非対称の形状に仕上げた本商品は、見た目にも美しい一品です。一つ一つ職人が手作りで仕上げる「江戸扇子」を日常に取り入れてみてはいかがでしょうか。
表面　裏面
税込み 7,920円　商品番号 13-123　カラー：青　サイズ：W37×H26cm

東京本染ゆかた・てぬぐい ①青海波 ②麻の葉 ③桜　東京2020オリンピックエンブレム
東京の伝統的な手染め技法を活用したてぬぐいです。幸せが波のように永遠に続くという意味の青海波柄、成長の祈願や安産祈願を意味する麻の葉柄、日本を象徴する桜柄をそれぞれあしらいました。ハンカチとしても粋なてぬぐいをお楽しみいただく事ができます。
税込み 2,222円　商品番号 ①13-166 ②13-167 ③13-168　カラー：藍　サイズ：W33×H90cm

〈販売元〉株式会社47CLUB　東京都中央区築地1-12-6 築地えとビル4階
ご注文はお電話でどうぞ　〈受付時間〉毎日9:00～18:00 土・日・祝も受け付け中　お電話は午後、特に15:00以降が比較的かかりやすくなっております。
ご注文専用　0120-47-10-47
ネットのご注文はこちら　技わざセレクトショップ　https://wazawaza-select.jp　技わざ　検索
＜お支払い方法＞・銀行振込（前払い）※振込手数料はご負担ください。・クレジットカード・代金引換 ※別途代引手数料がかかります。
＜お届け＞ご注文受け付け後、通常は1カ月程度でお届けいたします。※別途記載のある場合は除きます。
●返品について● 原則、返品は不可です。万が一不良品または注文番号と異なる商品が到着した場合は、商品到着後8日以内に下記問い合わせ先までご連絡ください。TEL.03-5148-4751
※お客さまの個人情報は、商品の発送、関連するお知らせ、アフターサービス、カタログ、DMの送付および、ご連絡のために使用するほか、個人を特定しない統計的情報として利用させていただく場合がございます。詳細は技わざセレクトショップから「個人情報保護ポリシー」をご参照ください。
※商品の色、質感等は実際の商品と異なって見える場合がございます。あらかじめご了承ください。　※商品には、別途送料（税込み）がかかります。（本州・四国 990円、北海道・九州・沖縄 1,370円）　※別途記載のある一部商品は配送料金が異なります。

伝統工芸品の公式ライセンス商品化について　申請受け付け中　下記にお問い合わせください
東京2020組織委員会は、それぞれの地域によって異なる日本の卓越した技術、文化、伝統が詰め込まれた品質の高い商品を公式ライセンス商品化するプログラムを行っております。
【お問い合わせ】東京2020ライセンシング事務局 伝統工芸品室　東京都中央区築地1-12-6 築地えとビル４F　TEL.03-5148-4752　dento-info@tokyo2020-licensing.jp